

4. ワクチン接種の早期展開

(1) ワクチン接種の状況

【国のワクチン供給予定】

①医療従事者分

5月中に必要なワクチン量を供給

②高齢者分

6月末までに必要なワクチン量を供給(4月9日河野大臣)

7月末までに2回接種を終えるよう取り組む(4月23日菅首相)

③その他の16歳以上の方

9月までに確保できる見通し(4月17日菅首相)

【奈良県の接種状況】

3月	4月	5月～
----	----	-----

医療従事者等(約5万2千人)

- ・患者を受け入れている病院(3月8日から順次接種開始)
- ・その他の医療機関(4月16日から順次接種開始)

【1回目の接種実績】

(4月26日現在(V-SYSデータ))

医療従事者 19,905人

高齢者等 2,150人

高齢者(約41万2千人)

(4月12日から順次接種開始)

(2) ワクチン接種者の確保

- 特設会場で接種を計画している市町村で、医師や看護師が不足していると考えられる会場が少なからず存在します。
- 今後、一般の方々の接種に向け、不足感が増すことが懸念されます。

【特設会場における医師・看護師の充足感】

	会場数	医師数			看護師数	
		充足感	会場数	割合	会場数	割合
特設会場で接種	68	不足	9	13%	7	11%
		検討中	42	62%	39	57%

※予防接種計画策定状況調査・奈良県分(4/7時点)による

- 接種を早期に終了するには、**医療従事者の確保**が必要です。
- アメリカやイギリス等では、薬剤師もワクチンの接種が可能です。

国に薬剤師も接種できるように制度改正を求めています。
全国知事会の国への要望にも取り入れられています。

(3) 安心して接種を受けていただけるよう
副反応の対応体制を構築しています。

接種後の副反応に関する相談体制を構築

奈良県新型コロナワクチン副反応コールセンター

土日・祝日も含め
24時間対応

TEL 0120-919-003
FAX 0742-36-6105
メール nara-vaccine@bsec.jp

副反応に関する受診体制を整備

- 副反応による受診を希望する県民への対応として、
協力医療機関を確保。（4月26日現在 **54病院・323診療所**）
- 協力医療機関で対応が難しい場合は、**専門医療機関**
で対応

5. その他の措置

5 その他の措置

- (1) 「奈良県ゴールデンウィーク緊急対処宣言」を発出します
- (2) 効果的な感染防止策を掲載した県民だより臨時特集号を全戸配布します
- (3) 感染症専門医による、新型コロナウイルス感染症についての県民のみなさまへのメッセージを、テレビCMで放映、LINE、ツイッターなどSNS、新聞広告でも発信します
- (4) 市町村に積極的に情報提供をして、情報共有をし、協調して必要な対策を実行します。

奈良県GW緊急対処宣言

感染者が急増し、危機を乗り越えるためには、県民が一丸となって感染防止対策に取り組む必要があります。

ゴールデンウィークは、感染拡大を食い止める大きなチャンスです。

- 市町村と連携して、近隣府県からの不要不急の往来を防ぐための対策を実行します
- ふだん同居していない人と、マスクを外した状態での対面は、徹底的に避けましょう
- 大阪など感染者が多い地域へは行かず、県内で、家族と過ごしましょう
- 入院病床・重症対応病床、宿泊療養施設を追加・整備します
- 入院・入所待機者、自宅療養者の健康管理を強化します
- 受け入れ病院に診療報酬制度による経営支援が行えるよう、国に働きかけます
- 早期の終息を目指して、一緒に取り組みましょう